

1～2歳児の事故予防



※ 歩行できるようになり、行動範囲もますます広くなり、事故の多発する時期です！

1. 敷居など段差のあるところでは、つまづかないように注意する。家具などの角の鋭い部分はクッションなどでガードしておく。
2. たばこ・灰皿や薬はいつも手の届かないところへ置く。ジュース等の空き缶を灰皿代わりにしない。引き出し、バッグの中身も注意。
3. 玄関、階段には一人で行けないようにしておく。テーブル、こたつ、イスにも上がりたがるので注意。買い物カートやベビーカーから転落することも多い。
4. ペンや歯ブラシ、フォークなどをくわえて歩きまわらせない。手に持っていてても体を突き刺すことがある。
5. 熱い鍋、アイロン、暖房器具によるやけどに注意。
6. はさみ、包丁、かみそりなど刃物はすぐかたづける。
7. 車のドア、パワーウィンドウ、自動ドアなどの開閉に注意。ドアのすき間に指が入らないようにガードをつける。
8. スーパーの袋、ビニール袋やラップは手の届かないところへ。かぶって窒息したり、のどに詰まらせることがある。
9. 入浴中の赤ちゃんから目を離さない。入浴後はお湯を抜いておく。浴室に勝手に入れないようにしておく。
10. ピーナツや枝豆などの豆類は3歳過ぎまで与えない。
11. 自動車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取り付けて使用する。



ハビネス こども クリニック

お問い合わせは…

087-848-9178

